

■今年度の活動内容設定時に参考とした「他校の環境に関する取組」									
取組 テーマ	取組目標	具体的な活動内容		担当者	活動 主体	取り組んだこと、その実績	１年を振り返って		
限りある資源を必要に応じて適切に使用する	適切に使用するのはどのようなことなのか、日々の実践を通して体得するようにする。	1	長時間教室等を空ける際は、照明を消す。	各担当教諭 教頭	教職員 児童	定期的な声かけ。つけっぱなし、出しっぱなしを見かけたら消す・閉める活動。 新型コロナウイルス感染症、熱中症等これまでの経験とは異なる疾病環境があり、この項目に関しては、今後の適切な使用を考える。	【取組の評価】 ☐ 達成できた ☐ ほぼ達成した ☒ 達成できなかった 【理由】 全校への伝え方をもっとしっかり計画的にしなかったため。 【今後の課題】 全校児童に計画的に伝える計画を立てる。 【次年度への引継ぎ事項】 児童に効果的に伝え、自分事として考えられるような手立てを実施する。環境委員会を活用する。 何を持って「適切」とするのか検討が必要。		
		2	空調の適切な利用。 心身の健康を第一にした上で、適切な空調使用を心がける。	各担当教諭 教頭	教職員 児童				
		3	水道水の適切な使用。 手洗いなど必要な場面で、石けんでの擦り洗い中などは水道水を止める。	各担当教諭 教頭	教職員 児童				
使用済みおよび不要物品の適切な廃棄をする	市のごみ分別とその理由について日々の実践を通して体得するようにする。	1	ごみとして処分する物品を適切に分別する。再利用できる資源としての意識を持つ。	各担当教諭 教頭	教職員 児童	教室内に燃やせるごみとプラごみのごみ箱を設置した。意識してごみを分別するようになった。 ごみの排出量はそれほど変わらなかったが、無駄遣いをなくすよう心がけた。 物品を大切にすることに関しては、まだまだ。注意をするよう声かけをするが、徹底できていない。	【取組の評価】 ☐ 達成できた ☐ ほぼ達成した ☒ 達成できなかった 【理由】 個人の持ち物を含め扱い方が乱暴であった。破損が多い。 【今後の課題】 ものを大切にすることを育てる。 【次年度への引継ぎ事項】 物品の管理や使用方法を考える。		
		2	物品ができる限りごみとならないように大切にし、工夫して使用するようにする。	各担当教諭 教頭	教職員 児童				
		3	個人の持ち物を始め学校の物品を大切に扱い、長く使用できるようにする。	各担当教諭 教頭	教職員 児童				
		4	ベルマーク教育助成財団の取組から使用済み物品の資源化を学ぶ。	東小会（保護者会） 教頭	保護者 児童				
自然愛護	学習で育てる植物の育成や自然環境を大切にする。	1	学習で使用する植物を愛でる心情を育てる。	各担当教諭	教職員 児童	緑化委員会が学校に花を植えたり、保護者会で花壇を整備したり、低学年が花や野菜を育て、どれも世話をきちんとして、きれいな花やおいしい野菜となった。	【取組の評価】 ☒ 達成できた ☐ ほぼ達成した ☐ 達成できなかった 【理由】 世話をきちんとして行った。 【今後の課題】 活動主体の児童以外にどのように広げていくか。 【次年度への引継ぎ事項】 今後も活動を続けていくかどうか。		
		2	野菜の栽培を通じて、植物や自然に対する感性を育てる。	各担当教諭	教職員 児童				
		3							

（様式１）学校エコ活動シート

●写真等の記録：活動や発表の風景等取組の記録を、必要に応じて添付してください。写真等の下に、キャプションをご記入ください。個人情報の取り扱いにご注意ください。

●学校長（推進責任者）によるコメント

【学校長名】

柴田貴行

【今後の方向性について】

エコ活動が、児童の学校生活の中で、当たり前のように取り入れられ、児童が悩むことなく取り組み、それが家庭生活にも波及するというのが理想的な形態であると考え。今年度の実現度については、委員会活動等特設された活動を通して実施するものについては、児童の意識が向き、継続し達成度が高くなるが、日々の取り組みの成果は、学年や学級によってまちまちであることがみてとれる。学校生活の基本となるエコアクションに自ら気が付いて、誰かがやってくれるではなく、自然に行えるように学校生活の中で落とし込んでいく必要があると考える。

児童への啓発はもちろん必要だが、一部の意識の高い児童のみが取り組んで成果が出ているだけでは活動としては不十分であるため、物品の扱い方、照明・空調・水道水等生活に必須なエネルギーの適切な利用を目指して取り組ませたい。